

# 慈悲 正念寺 寺報 令和二年二月十一日発行

一月もあつという間に過ぎました。二月四日は立春。十九日は雨水です。柚子風呂や、南瓜を食べて冬を乗り越える風習の冬至と、春のお彼岸の春分の間におかれているのが立春だそうです。椿や紅白の梅が春の訪れを伝えていますが、春は始まったばかり。厳寒を覚える日々が続きます。

寒さだけならば良いのですが、中国武漢で発生した新型コロナウイルスが毎日すごいペースで拡大。特效薬がないばかりに不安が続きます。自然界にウイルスは無数いますが、絶滅しそうな動物に寄生していると滅びるので、生き延びるために、数の多い動物や人間に住み着き、ウイルス自体が生き抜こうとするそうです。今回の新型をはじめ、鳥インフルエンザ、豚コレラなどのウイルスと戦いは、人間の頭脳によって科学技術が進歩しても続くでしょう。経済や日々の生活にも影響が広がっていますが、デマなどに流されないで、予防を第一に心がけましょう。

不安・心配事ばかりを感じ、抱え込んで、せつかく賜った自分の生命が萎縮します。今あることの「しあわせ感」を高めましょう。「しあわせ」とは、元々「為合」から来ており、「お互いよろしく」との意味があり、「幸せ」と漢字で書く前は、「仕合せ」と表記していました。辞書によりますと、「幸」は、「夭」と「夨」からなり、「若くして死ぬべき時を免れる」との意から転じ、「さいわい・ねがう」の意味となったようです。思いがけない幸せに巡り合うこと。又、幸せ豊かなことをどんな時、場所、体験で感じるかは人それぞれですが、心身共に健康の肥料ではないでしょうか。「幸せ」とは「仕合せ」からきていますので、一人では幸せにはなりません。「共に仕え合う」という心が大切だと思います。老若男女が互いに支え合う、家族が手を取り合う、自分の身体と心(精神心理)が助け合って手を取り合う等、足りない所を補い生きていければと思います。

その妙薬はお念仏の心だと一層強く思う今年の始まりです。

## ◎三役・新親年番・新年番の皆様(敬称略)

左記の方々にお世話になります。よろしくお願ひします。

地区	親年番	年番
横知 北	個人名のため省略	
横知 南		
山の腰		
畑 西		
畑 東		
徳田 西		
徳田 次		
徳田 中		
徳田 東中		
徳田 東		
三田ノ木		

総代	個人名のため省略
副総代	
副総代	
副総代	
会計監査	
会計監査	

## ◎今年の法要日程

- ◎春季 永代経 3月21日(土)・22日(日) 午後1時半
- ◎歓喜会(お盆) 8月15日(土) 午後1時半
- ◎秋季 永代経 10月3日(土)・4日(日) 午後1時半
- ◎報恩講 11月21日(土)・22日(日) 午後1時半
- ◎聞法会(法要以外の月)
  - 2月14日(金) 午後7時
  - 5月16日(土)
  - 6月16日(火)
  - 7月16日(木) 午後7時半
  - 9月16日(水)
  - 12月16日(水) 午後7時
- ◎お汁 12月13日(日)
- ◎除夜の鐘 12月31日(木) 午後11時50分頃
- ◎修正会 (2021年) 1月1日(金) 午前0時

※日時は変更する場合もございますのでご了承ください。

## ◎本山お七夜報恩講お参りの御礼

1月14日お七夜の法話には、多くのお同行の方に来て頂き、嬉しく思いました。ありがとうございました。

## ◎夏の打敷について

夏の打敷(仏様の前に飾る布)を55年余り使用してきましたが、布地と金糸が切れ、再修理ができない状態となりましたので、協議の上、今年新調することとなりました。

## ◎高田本山の宝物館

令和5年(2023年)は宗祖親鸞聖人のご誕生850年、翌年、令和6年(2024年)は立教開宗800年と記念すべき年を迎えるにあたり本山では宝物館の新築が進められています。

## ◎春季永代経のご案内

永代経は、仏様となつてお浄土に往生された故人と、ご先祖を偲び、亡くなられた方々から頂いた仏縁を深め、後世に伝えていく感謝の心を表した法要です。新加入の方々と、旧加入の方々を合わせて永代の法要を厳修しますので、お参り下さい。

日時 3月21日(土)・22日(日) 午後1時30分  
法話 21日(土)一ノ宮 真永寺 住職 橘徹心師  
22日(日)正念寺 住職

新加入の方々は次の通りです。  
有縁のある方はご参詣下さい。

個人名のため省略